



KDDI BUSINESS ロゴガイドライン

24/02/26 第1稿

25/03/14 P.12 全ロゴ共通_使用禁止例_一部修正・追記

P.14 全ロゴ共通_他社との協業やコラボの関係性を示す際の表記方法 [ページ追加]

P.15 全ロゴ共通_協賛案件へのブランド表記におけるロゴ使用とワード選択の考え方について [ページ追加]

1

KDDI BUSINESSロゴの種類と定義

- 04 ブランドロゴの種類と使用優先順位
- 05 正式なスローガン表記

2

KDDI BUSINESSロゴに関する定義の詳細

- 07 全ロゴ共通__ブランドカラーについて
- 08 ①スローガン付きブランドロゴ
- 09 ②ブランドロゴ
- 10 保護領域と最小使用サイズ

3

禁止事項と各種制作表現規定

- 12 全ロゴ共通__使用禁止例
- 13 全ロゴ共通__背景色との関係
- 14 全ロゴ共通__他社との協業やコラボの関係性を示す際の表記方法
- 15 全ロゴ共通__協賛案件へのブランド表記におけるロゴ使用とワード選択の考え方について

4

KDDIロゴとの使用区別と運用に関するQ&A

- 17 KDDI VISION 2030やKDDI Brand Bookトップ等、
コーポレートブランディング目的の訴求シーン
- 18 会社案内等の法人事業とパーソナル事業を併せて訴求するシーン
- 19 法人サイト等で、法人向けに法人事業を訴求するシーン
- 20 プレス資料等で、コーポレートとして法人事業を訴求するシーン
- 21 Q&A

KDDI BUSINESSロゴの種類と定義

- 04 ブランドロゴの種類と使用優先順位
- 05 正式なスローガン表記

KDDI BUSINESSロゴには、スローガンの有無に加え、ポジティブ表示、ポジティブ表示(フチドリ)、ネガティブ表示があります。使用優先順位の考え方を記載しています。

ルールに則り、適切な使用をお願いいたします。

使用 優先 順位	優先度高 優先度低							
ロゴの 種類	スローガン付き ブランドロゴ				ブランドロゴ			
	KDDIブルー ポジティブ表示	KDDIブルー ポジティブ表示 (フチドリ)	モノクロ ポジティブ表示	モノクロ ネガティブ表示	KDDIブルー ポジティブ表示	KDDIブルー ポジティブ表示 (フチドリ)	モノクロ ポジティブ表示	モノクロ ネガティブ表示
	 	 	 	 	 	 	 	 
KDDI BUSINESSブランドの核として原則的にKDDIブルーのポジティブ表示を使用する。 背景が濃く、ポジティブ表示では視認性が悪くなる場合は、フチドリ表示を使用する。								

■ スローガンの表記ルール

スローガンを、文章中などでテキストで表記する場合、
下記のルールに基づき正しく表記してください。

Tomorrow, Together KDDI BUSINESS

半角スペース

半角スペース

半角スペース

禁止事項

TOMORROW, TOGETHER KDDI BUSINESS

tomorrow, together KDDI BUSINESS

大文字、小文字の表記が異なるため。

Tomorrow, Together

KDDIまたは、KDDI BUSINESSの表記がないため。

トゥモロー, トゥギャザー

とうもろー, とうぎゃざー

日本語表記をしてはならないため。

KDDI BUSINESSロゴに関する定義の詳細

07 全ロゴ共通__ブランドカラーについて

08 ①スローガン付きブランドロゴ

09 ②ブランドロゴ

10 保護領域と最小使用サイズ

KDDI BUSINESSのブランドイメージを統一的に表現していく上で、ブランドカラーは効果的な役割が期待できる重要な要素です。

必ずブランドカラー(KDDIブルー、グラデーション)の規定を遵守し、十分な色校正を行って忠実な再現を心がけてください。

※スローガンについてもブランドカラー(KDDIブルー)で表示します。

■ ブランドカラー (KDDIブルー)



PANTONE : 2747C

CMYK : C100+M90+Y0+K32

RGB : R14, G13, B106

正しい「KDDIブルー」を再現するために、

以下の運用をお願いいたします。

【印刷物・ノベルティなどインクを使うもの】

特色が使える場合は、必ず「PANTONE 2747C」インクを使用の上、発注先においてカラーチップ(色見本)による色校正を徹底してください。

【WEB】

ディスプレイの種類や設定、角度など、閲覧者の環境により色のばらつきが出るのはやむをえませんので、制作者は必ずRGB(R14、G13、B106)を遵守してください。カラーチップによる色校正は必要ありません。

【カラーチップの配布について】

上記の運用を徹底するため、制作物の発注が必要な部署に「KDDIブルー」のカラーチップを配布いたします。カラーチップが必要な場合は、使用用途と併せてブランドマネジメント部までご連絡ください。

■ グラデーション



始点 : KDDIブルー

終点 : スカイブルー

CMYK : C78+M15+Y0+K0

RGB : R0, G157, B221

本pdfから、ロゴデータを取得してはいけません。

ブランドロゴに、スローガン「Tomorrow, Together」を併記したロゴです。
スローガンを示す場合は、特別な場合を除き、このロゴを使用します。基本は横
組みですが、使用目的や使用箇所に合わせて縦組みも使用可能です。

横組み（基本形）



縦組み



横組み（基本形）



縦組み



■ ロゴの配置について

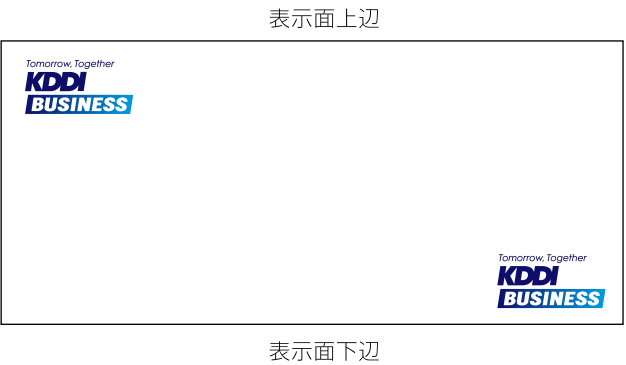
スローガン付きブランドロゴは、ブランドとしての統一感の醸成及び視認性の観点から、特別な事情がない
限り、基本表示を使用し、左上隅に配置してください。スローガン付きブランドロゴの大きさや位置について
は、下図を参考にして、表示する媒体において最も効果的な表示方法を検討してください。

・ 基本表示 基本規定位置



基本規定位置に
配置できない場合、
右下隅に配置することも
可能です。

・ 縦組み 基本規定位置



■ スローガンの単独使用

※スローガンを単独で利用したい場合は、ブランドマネジメント部にご相談ください。

注意事項

- 一紙面（WEBでは1画面）につき、原則1つのブランドロゴを使用します。
- 例外的に複数のブランドロゴを使用する場合は、必ずブランドマネジメント部にご相談ください。

本pdfから、ロゴデータを取得してはいけません。

■ ポジティブ表示（基本）



■ ポジティブ表示（フチドリ）



■ モノクロ表示



■ ネガティブ表示



注意事項

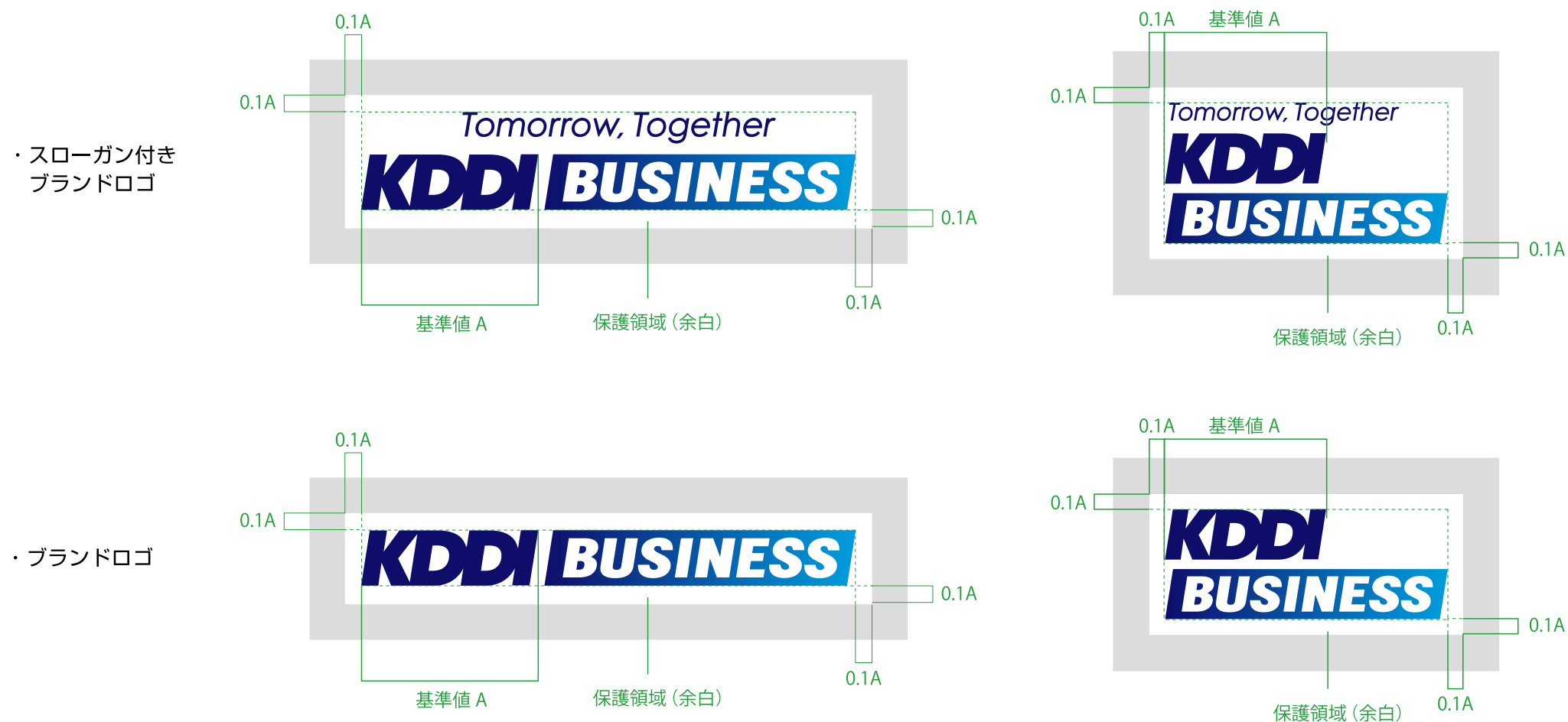
一紙面（WEBでは1画面）につき、原則1つのブランドロゴを使用します。
例外的に複数のブランドロゴを使用する場合は、必ずブランドマネジメント部にご相談ください。

本pdfから、ロゴデータを取得してはいけません。

■ 保護領域について

KDDI BUSINESSロゴの表示は独立性、識別性をもって行うことが重要です。そのため、KDDI BUSINESSロゴを表示する際には、その周辺に一定の保護領域(余白)を設け、この領域内には原則として他のデザイン要素や文字などを表示してはいけません。以下に示したのは、確保すべき最小限の保護領域ですが、具体的な表示にあたっては可能な限り大きな保護領域(余白)を設けるように配慮してください。

※各種ロゴを表示する場合は、ここに示した数値以上の保護領域(余白)を確保してください。



■ 最小使用サイズ

□ゴの視認性及び、可読性確保の目的のため、最小使用サイズ以上を必ず保持してください。またデバイスなどの大きさによっては、データ上のサイズは守っていても、視認性及び、可読性が落ちている場合があります。必ず目視での確認も行ってください。

・紙面での最小使用サイズ



- ・WEBやモニタでの最小使用サイズ



禁止事項と各種制作表現規定

- 12 全ロゴ共通__使用禁止例
- 13 全ロゴ共通__背景色との関係
- 14 全ロゴ共通__他社との協業やコラボの関係性を示す際の表記方法
- 15 全ロゴ共通__協賛案件へのブランド表記におけるロゴ使用とワード選択の考え方について

全ロゴ共通__使用禁止例

12

KDDI BUSINESSロゴの独立性確保、ロゴイメージの統一を目的として、以下を使用禁止とします。

一貫したブランドコミュニケーション展開を行うためにも、ロゴの誤用は避けるようお願いします。なお、横組みでも縦組みでも、同じ使用禁止例を適用します。

 変形してはならない。(縦横比率を変えてはならない。)			 規定以外の組み合わせをしてはならない。			 規定のグラデーション以外を使用してはならない。
 表示色を変えてはならない。	 別の書体で表示してはならない。	 スローガンの書体を変えてはならない。	 斜めに表示してはならない。	 ロゴの外側に、ぼかしをつけてはならない。	 不適切な解像度や識別性を損なう表示をしてはならない。	
 規定以外のフチドリで表示してはならない。		 表示スペースの端から、表示してはならない。	 規定の配置バランス以外で配置してはならない。	 立体的な表示や影をつけてはならない。		 識別性を損なう強いパターンの上に、表示をしてはならない。
 他の要素を加えて表示してはならない。	 保護領域の外であっても、デザイン要素の一部としてロゴを使用してはならない。	 他のロゴやイラストと一体に見える組み合わせをしてはならない。	 規定以外の連続表示をしてはならない。	定められたブランドロゴタイプは、大切な基本デザイン要素です。文章中での使用は、KDDI BUSINESS お控えください。定められたブランドロゴ 文章中にロゴを使用してはならない。ただし、イベント名称へのロゴ使用は可。 ※ブランドマネジメント部への事前相談は必要。	Lorem ipsum dolor sit Lorem amet, consectetur adip- amet, LorKDDI BUSINESSrem aliqua. Ut enim ad minim aliqua. labore et dolore magna labore 周辺に煩雑な要素を表示してはならない。	 金型、造形物において、スローガンの文字の再現が困難な場合はスローガン付きロゴを使用してはならない。

KDDI BUSINESSロゴは、白地の背景に表示することを原則としますが、表示物自体が着色されていたり、また目的によってあえて背景を着色している場合があります。

KDDI BUSINESSロゴの表示色は、背景色によっては視認性が大きく損なわれる場合もあり、十分配慮しなければなりません。

KDDI BUSINESSロゴを使用する際は、下図を参考とし、視認性を確保してKDDI BUSINESSロゴが最も効果的に映るデザインを検討してください。

■ KDDI BUSINESSロゴ（スローガン付きでも同様）

	0%	20%	40%	60%	80%	100%
KDDI BUSINESS	KDDI BUSINESS	KDDI BUSINESS	KDDI BUSINESS	KDDI BUSINESS	KDDI BUSINESS	KDDI BUSINESS
	KDDI BUSINESS	KDDI BUSINESS	KDDI BUSINESS	KDDI BUSINESS	KDDI BUSINESS	KDDI BUSINESS
	KDDI BUSINESS	KDDI BUSINESS	KDDI BUSINESS	KDDI BUSINESS	KDDI BUSINESS	KDDI BUSINESS
KDDI BUSINESS	KDDI BUSINESS	KDDI BUSINESS	KDDI BUSINESS	KDDI BUSINESS	KDDI BUSINESS	KDDI BUSINESS

他社との協業やコラボ等の関係性を示す際は「×」又は「|」を使用してください。

何らかの事情により記号が使用できない場合は、記号なしで併記可能です。

その際、提供主体となる側の企業を原則、左側に配置してください。

ただし、当社ロゴとグループ会社ロゴを併記する場合は企業間の関係性（親子関係）を考慮し、「×」「|」ではなく記号なしの併記としてください。（例：共同発信のプレスリリース等）

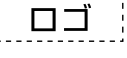
他社との協業やコラボを表現する際は、表現統一の観点から「×」「|」以外は使用しないでください。（「&」「and」「with」等）

	「×」表記	「 」表記	記号なし併記 （記号が使用できない場合、又はグループ会社と併記する場合）
他社ロゴ	 × 	 	 
グループ会社ロゴ	NG  × 	NG  	 

当社が協賛していることの表現を下記ワードを用いて行う場合、使用想定ケースの考え方を参考にしてください。

本ケースでのロゴ使用に限っては文中使用とみなさず、点線のロゴ位置にブランドロゴを使用することが可能です。

協賛先でワードや表現方法が統一されている場合は、その点も考慮して検討してください。

ワード	使用想定ケース
Powered by 	他社が主催、かつ、当社が技術提供をする場合
Supported by 	他社が主催の場合
Sponsored by 	他社が主催、かつ、当社が資金提供をする場合
Presented by   presents	当社が主催の場合
Produced by 	当社が主催の場合
by 	(使用しない)

■ 配置のルール

下線(緑のライン)に合わせて配置してください。

(「by」の「y」ではなく「b」の下合わせ)



禁止事項	スローガン付きロゴを使用してはいけません。
------	-----------------------

KDDIロゴとの使用区別と運用に関するQ&A

- 17 KDDI VISION 2030やKDDI Brand Bookトップ等、コーポレートブランディング目的の訴求シーン
- 18 会社案内等の法人事業とパーソナル事業を併せて訴求するシーン
- 19 法人サイト等で、法人向けに法人事業を訴求するシーン
- 20 プレス資料等で、コーポレートとして法人事業を訴求するシーン
- 21 Q&A

KDDIロゴの単体表示となります。

主な例

	Before		After
KDDI VISION 2030		➡	
KDDI Brand Book トップ		➡	

※画像はサンプルです。

「KDDIロゴ」「KDDI BUSINESSロゴ」「auロゴ」の3つを表示。
もしくは、「KDDIロゴ」の単体表示となります。

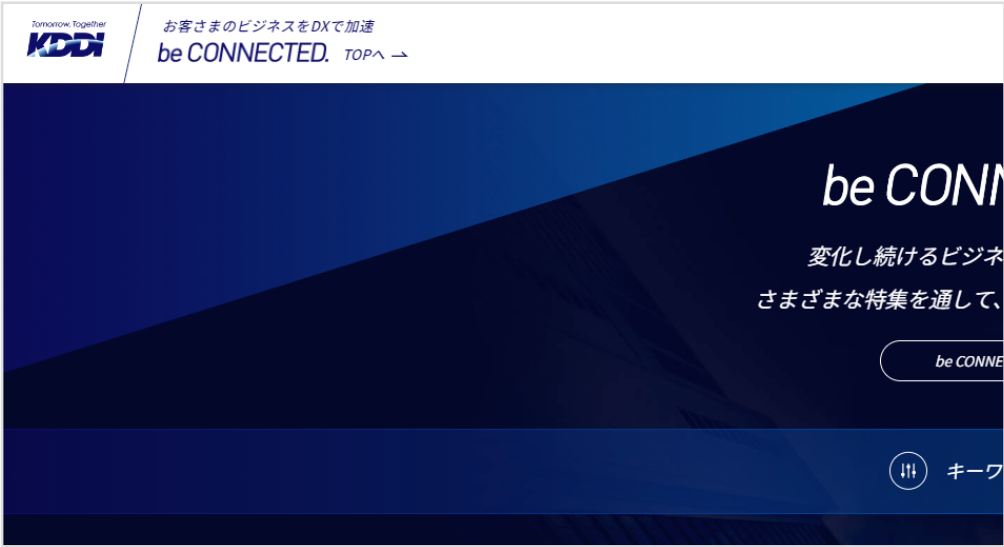
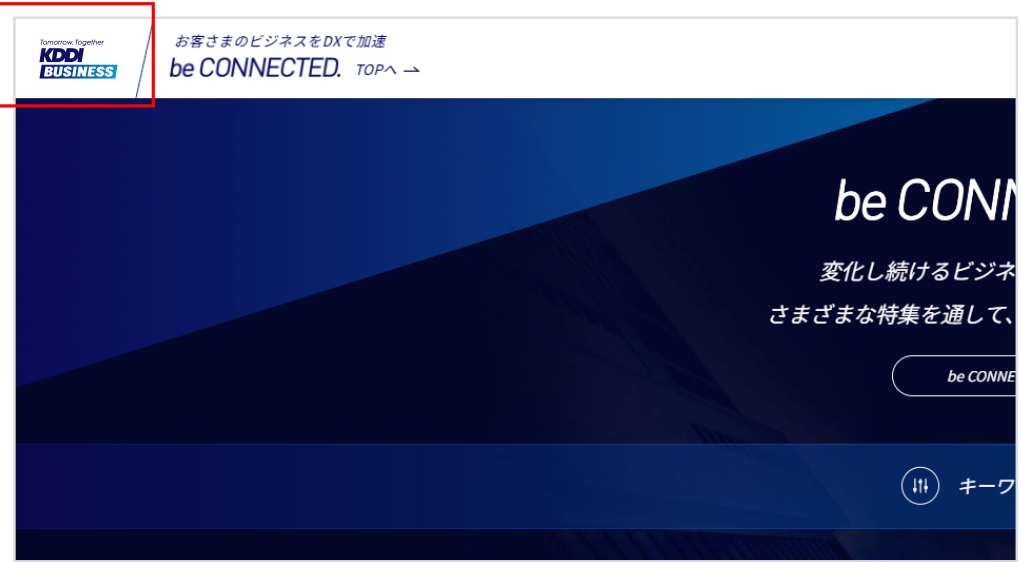
主な例

	Before	After	
会社案内			or 

※画像はサンプルです。

「KDDI BUSINESSロゴ」の単体表示となります。

主な例

	Before	After
法人サイト		

※画像はサンプルです。

KDDIロゴ(スローガン付き)+KDDI BUSINESSロゴ(スローガンなし)の表示となります。

主な例

	Before	After
プレス資料		 [派生ケース] 記者発表時の市松パネルは、 KDDI／KDDI BUSINESSを 交互に配置。 

※画像はサンプルです。

質問事項	回答
KDDI BUSINESSロゴと、グループ会社ロゴ(社名ロゴ)を並べることは可能か？ 可能な場合の配置ルールはあるか？	可能。グループ会社とKDDIとの関係性から(親子関係)、対等な関係を表す「×」「 」ではなく、記号なしの併記で表記します。 KDDI BUSINESSロゴを左に配置する形が基本ですが、グループ会社が発出するものであればグループ会社ロゴを左に配置してください(文脈によって主語となる企業を優先表示する) 並べても離して配置しても問題ありません。
KDDI BUSINESSロゴと、パートナー企業ロゴ(社名ロゴ)を並べることは可能か？ 可能な場合の配置ルールはあるか？	可能。対等な関係であることの表示として「×」「 」でつないでください。記号なしの併記も可。KDDI BUSINESSロゴを左に配置する形が基本ですが、グループ会社が発出するものであればグループ会社ロゴを左に配置してください(文脈によって主語となる企業を優先表示する) 併記する場合は、並べても離して配置しても問題ありません。
KDDI BUSINESSロゴを単独で使う場合も、資料の左上/右下に配置することが必須か？ 掲載内容によっては、右上に配置したいケースもあるため、確認したい。	KDDIロゴと同様に、左上を基本、配置不可の場合、右下隅に配置ください。 ただし掲載内容によって右上、左下に配置いただく事も可です。
同一資料内に、KDDI BUSINESSロゴとKDDIロゴ(社名ロゴ)を掲載する場合、スローガンを省略することは可能か？	同一紙面上でない場合は、原則スローガン付きを使用してください。 一紙面(WEBでは1画面)にスローガン付きKDDIロゴとKDDI BUSINESSロゴを使用する場合は、スローガンなしKDDI BUSINESSロゴを使用してください。
同一資料内にKDDI BUSINESSロゴが多用される場合、2個目以降のスローガン省略は可能か？	同一紙面上でない場合は、原則スローガン付きを使用してください。
横組みと縦組みの使い分けルールはあるか？	使用箇所の形状に合わせて視認性が確保できるロゴをご使用ください(優劣なし)。ただし導入事例やWEBバナーなど同種・類似媒体での使用時においては、KDDI BUSINESSとしての統一感醸成の観点から横組みと縦組みが混在する等のばらつきが出ないように、予めどちらを使用するかをご検討いただきテンプレ化していただければ幸いです。